

連続民話講座を開催しました！

図書館100周年行事として、連続民話講座「ふるさとの歴史と伝承」、「豊橋の民話を楽しむ」がおこなわれました。

「ふるさとの歴史と伝承」は大人向けの講座で年間3回、「豊橋の民話を楽しむ」は子ども向けで年間4回行われます。

平成25年1月14日（月・祝）に今年度最終となる講座が行われました。

●ふるさとの歴史と伝承

今回のテーマは「関の小万」です。近松門左衛門の戯曲で有名な小万ですが、実は豊橋市の賢養院（関屋町）に墓碑が存在します。

この実録に近い吉田宿に残された「小万伝承」を、実像と虚像を対比しながら、中島三郎先生に語っていただきました。

天候の悪い中でしたが、18名の方にご参加いただきました。受講者のアンケートでは、「“関のこまん”と“吉田の小万”のについて違いがよくわかった」や「思い切って参加してよかった。豊橋の昔の話をもっと聞きたい」など、数多くの嬉しいご意見をいただきました。



●豊橋の民話を楽しむ



今回の「豊橋の民話を楽しむ」は、嵩山校区を題材とした「アナドばあさん」、高師・天伯校区「大玄和尚ときつね」、津田校区「三つ塚の主のたたり」の3作品です。大人子ども合わせて30名近くの方に聞いていただきました。

民話の中には蛇やキツネなどの動物が登場し、思いがけない結末に、子ども達だけでなく大人の方まで真剣に聞いていました。

豊橋市図書館100周年記念行事として開催されたこの連続民話講座も、今回が最終回となりました。豊橋にゆかりのある人物や豊橋で生まれた民話を紹介することで、より豊橋のことを知ってもらい、興味を持っていただけたかと思います。たくさんのご参加ありがとうございました。